

# ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2003年（平成15年）11月15日号 No. 1278

## 目次

● アゼルバイジャン大統領選と内政・外交の行方	..... 廣瀬 陽子	1
● キーパーソン	.....	9
アゼルバイジャン政権人事、閣僚は軒並み留任／9		
● エトセトラ	.....	10
世界競争力比較におけるCIS・中東欧諸国の順位／10		
『調査月報』11月号のお知らせ／10		
● ロシア東欧貿易会関連の行事予定	.....	11
● CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	.....	11

## アゼルバイジャン大統領選と内政・外交の行方

慶應義塾大学 総合政策学部 専任講師  
廣瀬 陽子

### はじめに

旧ソ連・南コーカサスのカスピ海沿岸に位置するアゼルバイジャンで、2003年10月15日に大統領選挙が行われた。この選挙により、事前の予測どおり、現職のヘイダル・アリエフ大統領が息子のイルハムに政権を委譲し、「旧ソ連初の権力世襲」、「旧ソ連最年少の大統領」が現実のものとなった。

アゼルバイジャン大統領は、1995年制定のアゼルバイジャン憲法に基づき、5年ごとに改選される。憲法制定後からの選挙としては98年に続き、今回の選挙は2度目に当たる。

アゼルバイジャン憲法では、大統領の任期は2期までしか認められていないが、93年に大統領に就任し、98年に再選されたヘイダルは、2003年の大統領選挙にも出馬を表明した。ヘイダルがこの選挙で大統領に再選されれば、それは3期目となり、違憲にあたるはずだった。しかし、彼は憲法が制定されたのは95年だが、自身の大統領就任は93年であるので、1期目については憲法の規定が適用されえないというレトリックを使って、自身の3期目への挑戦